

2019.9.7-8

# AUTOPOLIS

Round

# 06

qualify



## 昨年優勝したオートポリス 期待が膨らむ予選8位を獲得



AUTOBACS SUPER GT 2019 第6戦の舞台はオートポリス。九州の真ん中、阿蘇にほど近いスケールの大きなサーキットです。K-tunes Racingは2018年、このオートポリスで予選10位からチーム通算2勝目となる優勝に輝きました。その再現に注目と期待が集まります。

開幕戦の岡山、第3戦の鈴鹿と、2勝を挙げたことで30ポイントを手にする代わりに、60kgのウエイトハンデが与えられました。その影響で第4戦タイ、第5戦富士と、予選から苦しい戦いを強いられてきました。そして迎えた第6戦、チームは速さを少しでも取り戻すため、マシンを入念にチェックし、さまざまな準備して九州へと乗り込みました。

オートポリスのコースは、RC F GT3にとって苦手とするレイアウトではありません。午前中の公式練習でも、タイヤのチェックを繰り返しながら10番手のタイムをマーク。戦闘力を感じさせる結果になりました。

予選Q1、ドライバーは新田守男選手が担当。タイヤをゆっくりとウォームアップし、アタックに向かいます。最初のア





タックは1分46秒027で、影山正彦チーム監督は「予選Q1突破には0.5秒くらい足りないかな? と思った」というように、2度目のアタックに期待が集まりました。しかし高速の複合コーナーでコースアウト、そのままピットへ。マシンのダメージはほとんどありませんでしたが、予選は終了。しかし予想されたよりも他のマシンのタイムが悪く、14位で予選Q1を突破することができました。

砂などを飲み込んだマシンのクリーニングとチェック、予選Q2へ向けてのセッティングなど、わずか25分の短いインターバルで、チームメカニックたちは素早く的確に作業を進め、マシンを送り出しました。

予選Q2に向かった阪口晴南選手は1分45秒395をマークし、8位となりました。予選でシングルというのは第3戦鈴鹿以来であり、上位を狙えるポジションです。シリーズチャンピオンを狙うためにも、結果を残したい今回のレース。300kmの決勝レースは、9月8日午後スタートします。



## 2019 AUTOBACS SUPER GT Round6 AUTOPOLIS GT 300km RACE

オートポリス

2019年9月7日 天候：曇り 路面：Dry

### qualify

Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	25	HOPPY 86 MC TOYOTA 86 MC / GTA V8	松井 孝允 佐藤 公哉	1'45.542	1'44.423	YH	32
2	52	埼玉トヨペットGB マークX MC TOYOTA MARK X MC / GTA V8	脇阪 薫一 吉田 広樹	1'46.001	1'44.520	BS	49
3	7	D'station Vantage GT3 Aston Martin Vantage GT3 / 16A	藤井 誠暢 J.P.デ・オリベイラ	1'45.460	1'44.653	YH	
4	61	SUBARU BRZ R&D SPORT SUBARU BRZ GT300 / EJ20	井口 卓人 山内 英輝	1'44.922	1'45.073	DL	34
8	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	1'46.027	1'45.395	BS	60

## 監督・選手コメント



Team Director  
影山正彦

©GTA

新田選手のQ1のタイムで大丈夫かな、と思ったんですが、無事突破できました。Q2の阪口選手も8位という結果を残してくれました。決勝は最低でも、ポイント圏内を目指したいですね。



Driver

阪口晴南

©GTA

新田さんからバトンを受け取って、8位という結果を出せました。ただ5位までは本当に僅差だったので、少し悔しいですね。明日の決勝に向けて、期待が持てる予選になったと思います。

